

2) 細胞生存率の算出方法

陰性対照の吸光度に対する試験物質の吸光度から、次式により細胞生存率を算出した。

$$\text{細胞生存率 (\%)} = \frac{S_a}{N_C} \times 100$$

S_a : 試験物質または陽性対照の吸光度

N_C : 陰性対照の吸光度の平均値 (n=3)

3) 試験の成立条件

- ① 陰性対照の吸光度 (570 nm-650 nm) の平均値が 0.7 以上 2.5 以下であること。
- ② 陽性対照の細胞生存率の平均値が 40 % 以下であること。
- ③ 各試験物質における細胞生存率の標準偏差 (n=3) が 18 以下であること。

4) 評価方法

試験の成立条件を満たした試験物質について、細胞生存率の平均値 (n=3) が 50 % 以下の場合は刺激性、50 % を上回る場合は非刺激性と皮膚刺激性を評価した。

7 試験結果

試験結果を表-2に示した。

陰性対照の吸光度の平均値 (570 nm-650 nm) は 0.971、陽性対照の細胞生存率の平均値は 2.7 %、各試験物質における細胞生存率の標準偏差 (n=3) は 18 以下であり、試験成立条件を満たした。

細胞生存率の平均値は 50 % を上回ったため、皮膚刺激性は非刺激性と評価された。

表-2 細胞生存率

試験物質	細胞生存率 (%)					評価
	n=1	n=2	n=3	平均値	標準偏差	
検体	103.6	109.3	103.4	105.4	3.35	非刺激性
陰性対照	94.5	102.3	103.3	100.0	4.82	非刺激性
陽性対照	2.5	2.7	3.0	2.7	0.25	刺激性

8 参考文献

- ・ ヒト 3 次元培養表皮 LabCyte EPI-MODEL24 を用いた皮膚刺激試験法。

以 上